

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3290600091		
法人名	社会福祉法人花の村		
事業所名	グループホーム合歓の丘		
所在地	島根県江津市後地町2935-4		
自己評価作成日	令和4年11月18日	評価結果市町村受理日	令和5年2月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [2/index.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=32](http://2/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=32)

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	NPOLまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白濁本町43番地		
訪問調査日	令和4年12月13日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

感染症流行後、積極的な外部の繋がりがもてない中で、隣接した施設(こども園)との交流機会、敷地を散歩している姿を見ることが出来ます。食料品の買い物機会を週に2回程度あり、それ以外にもライブへ出かけたり外出の機会をもっています。その時期に合わせた加工品作りにも入居者の方にも参加して頂き、昔からある習慣や季節感を感じて頂けるように取り組んでいます。鮮度の良い魚などがある際には、お刺身やお寿司を作ったり食でも楽しんで頂ける機会をもっています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

事業所は利用者のできる力を大切にし感染症対策に留意し施設内で楽しむ行事や積極的に散歩や外出など外気に触れる機会をつくり支援している。家族会開催や地域行事への参加は難しいが法要出席の送迎支援や「サンマ・鮎の塩焼き」、畑・花壇など事業所周りの自然豊かな敷地を活用し一人ひとりの状況や要望に応じた取り組みを実施している。さらに要望ある丘の庭の活用を法人内の他の事業所と一緒に立ち上げた委員会で検討を始めている。事業所の状況、介護度変化もあり電動ベッドの一部使用やインターネット利用の大型テレビの設置など環境面の充実も図っている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	月1回のミーティングの際、事業理念の唱和を必ず行っている。理念、行動指針については職員間でも共有し、それに基づいた行動を意識した支援に結びつけている。	毎月職員会議で唱和して確認し合い、事業理念や行動指針に基づいて日々の実践をするよう意識して取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行えていない。繋がりを持つ手段がない。唯一隣接しているこども園との交流がある。	日常の交流はできないが、運営推進会議での活動報告や意見交換で事業所と地域とのつながりを確認している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行えていない。今後、地域との繋がりを再構築するために運営推進会議を有効に活用していきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	書面での開催については、なかなか意見等の吸い上げできないが、対面にて開催した際には様々な意見など頂き改善に努めている。	従来の対面開催や感染状況に応じた書面開催など工夫し事業所の活動や取り組みを報告している。事業所内での楽しめる行事開催や、「丘の庭」活用の意見を活動に繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	家族との関係がうまくいかないケースや在宅復帰、退所に至ったケースについてなど在宅に戻れる事の周知、在宅サービスへの移行について相談、報告を行っている。	運営推進会議や毎月のだよりで状況を伝えられている。様々なケースについて必要な時には都度連絡を取り相談、報告を行い協力して取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、運営推進会議での報告などを通じて常に行わない為の意識作りを行っている。また、ミーティング内で研修も定期的に行っている。	定期的に研修を行い話し合い振り返りを行っている。利用者の尊厳を守り身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様に、ミーティング内などで年数回研修を行い行わない意識作りを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人が必要なケースについて、支援者と共に利用者の不利益にならぬよう情報の共有を行うなどの対応を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	介護保険制度がたびたび変わる中で毎度、重要事項の更新を行っている。変更箇所についての説明も行い変更部分がわかりやすいように配慮を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部者へ表せる機会としては運営推進会議や外部評価を想定している。ここ数年家族会の開催が困難であり家族との関係作りが困難に感じる部分もある。	家族会の開催ができないが、伝え方や情報の共有の仕方を検討しながら毎月のように写真やコメントを添え日頃の様子を伝えている。必要な時にはその都度連絡を取っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングや、随時業務の中で意見や提案をもらい、法人全体のリーダー会議や全グループホーム合同での事業所別会議でも提案、反映できる仕組みがあり活用している。	管理者は日頃から相談しやすい関係づくりに努めている。現場職員の自由な意見や提案を大切に、意見を受けて業務調整や玄関の段差解消に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	様々な就業における制度変更の中、休みなど法人独自のものも設置してある。労働時間に「についても多くの時間が定時の就業が行える環境ができています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	オンライン研修などの活用を通じて研修の機会を作っている。可能な限り対面研修への参加も促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染症拡大以降、お互いに感染症を施設に入れないことが中心となっており困難である。他事業所の運営推進会に参加する事は継続させていただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	可能な限り、個人の情報を集め、入居後も安心して生活できるように環境を作るように配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	可能な限り、個人の情報を集め、入居後も安心して生活できるように環境を作るように配慮している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後要介護状態の進行、身体状態の低下に伴ってグループホームでの介護が本人にとって粉ましいものにならないように他のサービスについても説明を行っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理や洗濯など日常の生活動作で可能な内容については利用者自身にも参加して頂き、機能の維持と共に生活にはりと役割りの達成感をもって頂くようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の写真付きのお便りの発刊は継続している。面会についても可能な時期には対面での面会の実施、窓越しの面会、オンライン面会など可能な範囲で対応を行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	併設の小規模多機能型居宅介護におられるご主人や同地域の方と可能な限り交流ができるようにしている。地域の人、なじみの人は遠慮もされているのもあり関わりが希薄になっている。	オンライン面会や玄関周りでの面会など感染状況に注意しながら柔軟に対応している。寺社での法要参列は職員が送迎し安全に行われている。現在、面会室の設置工事に取りかかっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ひとりの時間、共有する時間、両方に配慮しながら利用者一人ひとりが孤立しないよう、また、トラブルにつながらない様、間に入りったり、模様替えなど行い環境の変化をし、利用者同士が関わり合いが出来るよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了にあたり、在宅サービスへの移行についての説明、アプローチを行い自宅へ戻られてからの生活に支障がないように協力を行いました。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴に基づき本人になじみのある環境の提供、意向に沿うように支援を心がけている。	利用者に寄り添い表情やことば、様子から思いや意向の把握に努めている。開閉式カーテンを利用して静かな環境の中で思いを聞き本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供の内容の確認だけに捕らわれず、本人との関わりの中や、面会時の家族からの情報などを通じて深めていきます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	何かする時でも出来るだけ見守るようにして観察し、小さな変化にも気づけるように日々の観察を大切にしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎朝のミーティング、月に1度の全体ミーティングを通じて利用者の状態の把握、意向なども確認を行う機会を設けている。	利用者や家族の要望を聞き好きなことや現状に即した内容で介護計画を作成している。毎月、支援の確認と評価をしている。中断していた「金魚の世話」が職員が声をかけ支援することで復活した事例もある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎朝のミーティング、月に1度の全体ミーティングを通じて利用者の状態の把握、意向なども確認を行う機会を設けている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスを行いつつその内容に疑問も持つようにし、サービス内容の更新、変更、点検が行えるような柔軟な発想を持つようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人が心身の能力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しめるよう地域資源の活用も意識しながら支援にあたっている。隣接の認定こども園とは交流が続いているが手段、方法については検討が必要		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族と連絡を取りながら主治医と連携をとりながら相談、適切な医療が受けられるよう支援します。	利用者や家族と話し合い訪問診療や受診対応をしている。医師とも協力関係を築き支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師と共に介護を行うことで密接な情報の共有を行い、意見交換を行いながら、ケアの向上につとめている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の状況の確認を相談員に定期的に行ったり、退院後入所など可能な限り関係者から情報を収集を行います。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の際には終末期についての意向調査をおこなっており、状態の低下が見られた際には再度可能であれば本人の意向確認、家族の意思確認を行います。	利用時に家族、関係者と方針を共有しチームで支援に取り組んでいる。普段からこまめに連絡を取り合い、感染対策に配慮しつつ家族も最後まで見届けた事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急の実技については、行うことが困難になっていますがミーティング内で知識の共有を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は定期的に避難訓練を行っており、地域との協力体制も整っている。夜間の想定訓練も行っている。また備蓄についても行っている。	併設する事業所と合同で訓練を行い協力体制を築いている。災害時の停電に備えた対策も実施している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修の機会を設け、人権を考える機会作っています。仕草、表情などにも気をつけ対応を行っている。	施設内研修で理解を深め意識して取り組んでいる。共有の場でもカーテンで仕切ったり居室を利用し言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声をかける際には、選択できるような声掛けを行い、決めつける声掛けを行わないように意識している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはあるものの、本人の希望を聞く機会を持ち寄り添えるように配慮します		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	寝る時には寝間着、起きたら着替える等生活にメリハリを持てるようにします。洋服は本人の趣向に合わせたものを用意します。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理への参加だけでなく、洗い物、おしぼりの用意など参加できる家事ができるように個々に声掛けを行います。	調理の下ごしらえや片付けなど利用者が役割を持ってできるように支援している。旬の食材の加工や料理は事業所全体で楽しむ取り組みになっている。最近ではケータリングで外食気分を味わった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの口腔の状態に合わせた食事形態での提供、毎食は難しいですが、趣向に合わせたメニューの提供、行事食など楽しみも感じれるように支援します。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	可能な方は、自身で口腔内の洗浄を行って頂き、義歯の方には入れ歯洗浄剤を使用するなど、清潔の状態を保ちます。必要に応じて歯科受診も促します。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排便コントロールなど薬で調整できることは行い。一定のリズムができ、それに合わせてトイレの誘導など行えるように支援します。	一人ひとりの排泄状況を把握し思いを大切に支援している。適切なパットへの変更や当て方を検討し皮膚状態が改善した事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動の量、水分補給にも努め、出来るだけ自然排便を促している。飲み物、食事内容にも気をつけている。水分も飲みやすいもの、趣向に合わせて提供します。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の声掛けを行います。入る入らないは本人の意思の尊重を行います。	暑い時期はすぐ飲めるように冷水の用意をしたり、ゆず風呂を楽しむなど工夫している。浴槽内に入れるよう重度の利用者には二人で対応し安全と安心に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	離床は声掛けなどで進めるもの無理強いせず自室で過ごしたい利用者の方には自室で過ごして頂けるように配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医ともですが薬剤師とも薬をもらう際には、最近の様子を全ての利用者について、情報の交換を行い薬についての助言も頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ドライブ、花壇の世話、畑仕事、料理、買い物、頭の体操など一人ひとりに合った役割や楽しみ、気分転換に努めている。そのほか季節に合わせて行事を行ったり、誕生会も行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	施設周辺の散歩や、施設ウッドデッキでの日光浴など行っています。ドライブなど行う際には、利用者の意向を確認しながら行先の設定をしています。	散歩や馴染みの場所、ドライブなど利用者の意向を確認しながら外に出られるよう支援している。施設敷地内でもテラスでのお茶会や畑、庭の作業で外気に触れている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理は管理者が行っているが、本人の要望がある際には自由に使い、買い物を行けるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来ている。支援も同様に。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	開閉式のカーテンを設置し共有の空間の使い方に幅を持たせている。トイレは職員も出入りして温度、湿度、臭いなど、快適かどうか確認している。また出来るだけ季節の花を生けたりと季節感を感じていただけるよう配慮している	共有空間は空調に気をつけ快適に過ごせるように配慮している。手作り作品や日常の写真も見やすいように展示している。複数の開閉式のカーテン利用やソファ、椅子を置き思い思いに過ごすことできる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	開閉式のカーテンを設置し共有の空間の使い方にはばを持たせている。その都度思い思いに過ごせるような居場所づくりに配慮工夫している。もっと談話コーナーの活用を検討したい		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人家族と相談しながら作っている。一人ひとり本人が居心地よく過ごせるよう対応している	本人や家族と相談し家具や置物など持参してもらっている。家族と一緒に写した写真も壁に飾り心地よい居室となるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ること、分かることを活かした上で、安全にも配慮しながら工夫している。自立支援が出来るよう都度工夫している		